

評議会だより

第四七二回評議会

平成六年十一月八日(火)

(本部新任者の紹介)

庶務部長 小山 五朗

(前文部省高等教育局大学課課長補佐)

(教員選考報告)

文学部 教授 田中 逸郎(英語学)

歯学部 講師 廣野 力(口腔生理学)

歯学部 講師 武内 和弘(歯科放射線科)

工学部 助教授 岡本 伸吾(機械設計工学)

原爆放射能医学研究所 附属国際放射線情報センター

教授 星 正治

(報告)

原爆放射能医学研究所とアメリカ合衆国ウィスコンシン大学ヒト腫瘍学部との間で、国際交流計画に関する協定を締結した旨の報告があった。

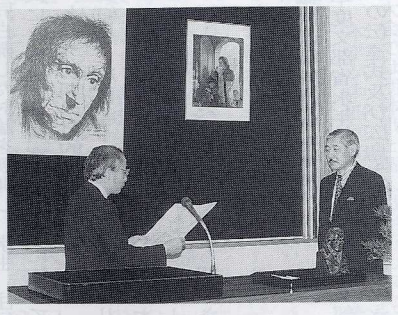
(議事)

青雲寮の入寮集停止措置の解除について 標記の件につき各学部教授会で検討し、次回評議会にて決定することとした。

#平成七年度新入生オリエンテーション行事日程が決まる

平成七年四月七日(金)は入学式・学生部オリエンテーション。四月十日(月)、十一日(火)は学部別ガイダンス、図書館紹介、各サークル紹介など。

表彰式は、十一月十八日(金)午後一時から教育学部大講義室で開催され、併せて慶応義塾大学名誉教授村井美氏による記念講演が行われた。なお、児玉氏御病氣のため御子息児玉伸雄氏に表彰状並びにベストロッチャー胸像が手渡された。



#あとを絶たない本学学生の交通事故

交通事故の危機的状況はまだまだ衰えず、今年四月から十月までですでに本学では十六件の交通事故が発生しており、うち三名はすでに死亡している。県民生活部交通安全対策室の調べによると、すでに六月三十日現在で、交通事故発生件数、死者数、傷者数とも昨年を上回っており、特に十六歳から二十四歳の若年者が占める死亡事故は全体の三割に達している。

- ▽四月四日、大阪府内をバイクで走行中、反対方面からの車両が右折して追突。全治三か月の重傷
▽四月十二日、広島県内を車で走行中、スピードの出過ぎのためカーブを曲がり切れず、反対車線に飛び出し、大型トレーラーと接触。全治約二か月の重傷
▽五月二十二日、大竹市に向かって、友人が運転する車でドライブ中、対向車がセンターラインをはみ出したため正面衝突。頭部打撲で

#学生部は来春、西条キャンパスに移転

本部事務局の移転に先立ち、学生部は平成七年三月に西条キャンパスに移転。

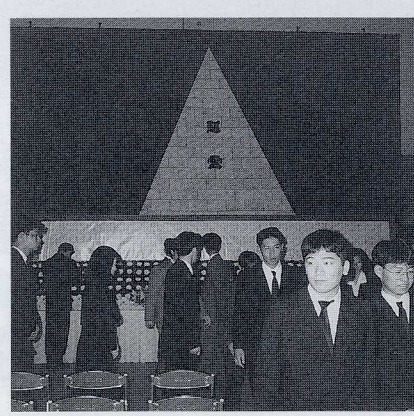
#中国新聞が広大統合移転を特集

中国新聞は、平成七年一月三日付けの新聞で西条キャンパスへの統合移転を特集する。

#献体者慰霊祭、いとなまれる

去る十月二十六日、広島大学体育館で、献体者慰霊祭がしめやかに営まれた。医歯学部の教育・研究のために、死後、自らの体を献体された人々への慰霊祭であり、この一年間、医学部、歯学部での解剖学実習や病理解剖および司法解剖に献体された三百六柱の御霊に対し、ご冥福を祈った。

慰霊祭には、遺族をはじめ死後の献体を申し出られている白菊会員や教職員、学生ら八百二十人が参列し、全員が黙とうを捧げた後、調枝医学部長、杉中歯学部長、井上学生代表、景山白菊会理事長がそれぞれ追悼の言葉を述べた。最後に、戸田学長補佐をはじめ参列者全員が祭壇に献花し、手を合わせた。



▲祭壇に献花する学生たち

#医学部附属病院、「エイズ拠点病院」を公表するまでの熱い議論

去る十一月十四日(月)、NHK総合テレビ「クロウズアップ現代」で「行き場を失った患者たち」エイズ治療の現場から」と題して、医学部附属病院の現場から



▲医学部附属病院

属病院のエイズ拠点病院としての取り組み状況が午後九時半から三十分わたって放映された。エイズ拠点病院が公表されているのは、広島県を含めわずか四県のみであり、三千人といわれるエイズ患者が事実上診療拒否を受けたり、輸血液製剤によるエイズ感染者がつきつき発病している現状のなかで、医学部附属病院では、昨年九月以降拠点病院となるべきかどうか議論を重ね、問題点を検討してきた。

エイズ拠点病院では、患者の治療は当然であるが、カウンセリングや他の病院への情報提供、教育・研修、技術支援など高度の医療が求められる。医学部附属病院では、「病院名を公表すべきか」、「使い捨て容器の経費」、「専門の個室は必要か」という三点について議論し、問題を解決してきた。

現在、日本では医療従事者のエイズ感染事故は起きていないが、近い将来起きる可能性は非常に高く、この問題に関しても、「警察官には警察官の、消防士には消防士の」負うリスクと同様に、医療従事者もまたそのリスクから避けられないのであるが、感染症対策を徹底することによって防ぎうるとしている。また、エイズに感染しているかどうかの血液検査に対しても、「了解なしに検査なし」という

#工学部に強盗、現金七十万円が奪われる

去る十一月十六日(火)午前八時二十分頃、工学部管理係の職員が、後期授業料の徴収業務の準備のため、大型金庫から現金約七十万円を手提げ金庫に移し、窓口のカウンターの前に置き作業していたところ、窓口が開かれ、その音に気づいた職員が振り向きざま、高さ約一メートルのカウンター越しに消火器を噴射された。その際、現金が手提げ金庫ごと奪われたらしい。消火器を噴射された職員は瞬間的に目が見えない状態になったため、容疑者の性別や人相は分からないという。

#「廣」という字の持つイメージを求めて

広島は以前は「廣島」と書かれていた。しかし、市内から「廣廣」の字が次第に消えてゆき、今ではほとんど見かけることがない。「廣」と「広」のイメージの違い、一人ひとりの字に対する思い入れを追いかけてみたい。ということからRCCから取材の申し込みがあったのは、十月の中旬のことであった。

「廣島銀行」が「広島銀行」に変わるなどの企業のC.I化によるものか、確かに町中では「廣」という字はあまり見かけない。では、広島大学では、国立学校設置法によると、昭和二十四年五月三十一日制定時は旧字体であるが、昭和二十五年三月三十一日の国立学校設置法には新字体となっており、「広島大学報」の規程にはすでに新字体で表記されているが、「学報」の標題が新字体に変わったのは昭和二十九年三月十一日発行分から、「広島大学職員録」の標題は昭和二十九年年度分から新字体になっている。すでに昭和二十一年に当用漢字表が、昭和二十四年には当用漢字字体表が定められており、昭和二十九年前後に謎が隠されているようだ。

正門の門標は大学紛争時に壊されており、その後飯島元学長により揮毫されたもので、いつまで旧字体であったかは不明。さて、この模様は、十一月二日(火)午後五時三十分からRCCテレビで放映された。「廣」のイ

#教育学部音楽科、コンサートで市民と交流

教育文化週間の十一月二日(火)、教育学部音楽科の「東広島コンサート」が東広島市西条栄町の中央公民館で開催された(入場料は千円)。開演時間の午後六時半には八百人が会場に詰めかけ、本科の教員である久留智之(ひさとも)ともゆき)氏の作品「女声合唱「結婚の本」より」で幕を開けた。

その他の演目は、F・メンデルスゾーン作曲の交響曲「スコットランド」、J・S・バッハ作曲「マニフィカト」、A・リード「春の狼犬」、G・ベルディ「運命の力」など五曲。音楽科の全学生と教員、総勢約七十人が出演し、オーケストラや合唱、アンサンブルと変化に富んだ演奏形態で、満員の聴衆を魅了していた。

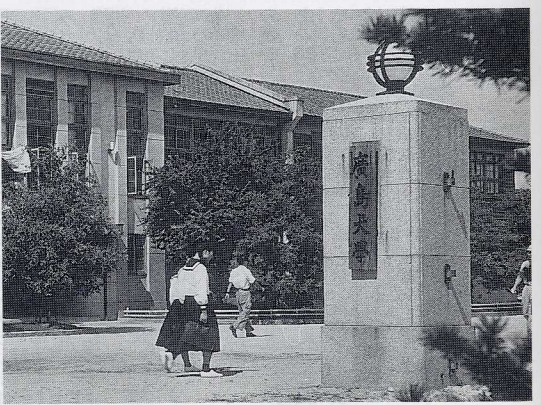
なお、八日(火)には広島市東区東区民文化センターでも同じコンサートが開催され(入場無料)、こちらの方は五百人の聴衆が集まり、深まりゆく秋の一夜を楽しんでいた。

#附属高等学校 南村教頭 平成六年度教育者表彰を受ける

附属高等学校の南村俊夫(みなみむら・としお)教頭が、平成六年度教育者表彰を受けた。表彰式は、十一月二十八日(月)国立小劇場で行われた。

#第三回「ベストロッチャー教育賞」受賞者決まる

スイスの教育者ハインリヒ・ベスタロッチャー(一七四六〜一八二七)を記念して設けられたベスタロッチャー教育賞の受賞者は、明星学苑理事長・明星大学学長・明星小学校長の児玉三夫(こだま・みつお)氏に決定した。今回の賞は、氏が五十六年にわたって日本のベスタロッチャー運動を理論的、実践的に継承発展させた功績に対し、贈られたものである。



▲当時の広大正門 (かつて東千田キャンパスに附属学校があったため、附属学校の児童・生徒と一緒に校門をくぐった。)

メッセージについて「戦前の軍国主義のおいさる」という意見や「歴史を感じさせる」、「落ちついた感じ」など賛否両論あった。若い人の中には読めない人もいた。「もはや戦後ではない」、「この言葉が実感として感じられる今日この頃である。

#千田祭 開催される東千田キャンパスで 大学祭実行委員会の主体が西条キャンパスに移ったことに伴い、昨年から実施されている千田祭が、地元千田商店街振興組合と共催で、十月二十九、三十日の両日開催された。実行委員マは「広島・最後・若者」。

二十九日(土)「森戸道路」のステージでは、ウェディング・セレモニーが開催され、法学部卒業生の桐原弘明さん(初)と山本三奈子さん(初)の学内結婚式が行われ、参加者からの祝福を受けていた。一方、夕方からは、「広大コンパス」と命名された「広大跡地利用を考える会」の公開討論会が開催された。辻法学部長や戸田経済学部教授をはじめ、県や市、商工会議所の担当者、県議、市議らパネラーとゲスト二十二人と、当日会場に詰めかけた八十人余の参加者に加え、円卓形式の討論会を行った。